

# 進修館通信

第32号 平成22年 7月14日発行

## 進修館は変わります 校長 里見 義臣

平成22年度の第1号の「進修館通信」に、昨年度の進路実績や部活動の活躍の記録を紹介をいたしました。



その後、早くも、陸上競技部のインターハイ出場が決定しました。また民放テレビ番組で、本校の機械研究部が紹介されました。言うまでもなく、普通科、総合学科の各系列、工業の各学科・各系列もその特色を活かした教育活動に取り組んでいます。

本校も市内3校が統合して以来5年が過ぎました。そこで、進修館高校は、統合時の理想、目標を、さらに具体的かつ効果的に実践していくこととしました。「各学科の特性をいっそう活かすカリキュラムの編成」を基本的な考え方として、学期制の変更、総合学科と工業科の系列の見直しなどを進めてまいります。

私は、1200名に達しようとする本校生の夢や希望、目標を達成させるとともに、5万を超える卒業生の本校に寄せる想いや願いが叶えられるような進修館高校にしたいと考えています。

さらに前進する進修館高校に期待してください。

### Point 1

#### 2学期制から3学期制へ変更します

##### 授業と行事のバランスが決め手！

授業時間の確保の観点から、2学期制にした学校がたくさんあります。進修館高校も、平成17年度の統合時から2学期制でしたが、充実した授業や行事がバランスよくできるよう、3学期制への変更を予定しています。



##### よりきめ細かな指導が可能に！

3学期制にすることにより、家庭に連絡する機会を増やすことができます。さらに、短いスパンで評価することで、よりきめ細かい指導が可能となります。

### Point 2

#### 放課後の時間を確保します

##### 生徒と教員のコミュニケーションが大切！

進修館高校は、面倒見のよい学校づくりに取り組んでいます。そのため、放課後の時間を、生徒と教員間の大切なコミュニケーションの時間として捉えています。

##### 普通科の7限授業を発展的に解消！

部活動に汗を流す、補習授業に参加する、あるいは、

担任との面談を行うなど、様々なことが考えられます。その時間を確保するため、普通科の7限授業を発展的に解消します。



### Point 3

#### 総合学科・工業系の系列を見直しました

##### いざ進学、いざ就職、専門色を強めました！

総合学科は、自分の好きな教科・科目を選択すること、<くり募集の工業系は、3年次で自分の好きな系列を選択することが大きな魅力ですが、いざ進学・就職となると、専門知識が不足していたり、自分の進路にあった科目が選択できていない生徒が見られました。



そこで、総合学科と工業系の系列を見直し、専門色を強めることとしました。特に、総合学科の進学系列では、卒業までに勉強する科目を予め設定するなど、夢を実現するカリキュラムを編制しました。

### Point 4

#### 総合学科の募集人員が5クラスになります 予定

平成23年度募集から、総合学科の募集人員が1クラス減の5クラス(200人)となります。

なお、普通科、工業系の募集人員に変更はありません。

〒361-0023 埼玉県行田市長野 1320

秩父鉄道 東行田駅から徒歩7分

URL <http://www.shinsyukan-h.spec.ed.jp> TEL 048-556-6291 FAX 048-550-1058

普通科 / 総合学科 / 工業系 (ものづくり・電気システム・情報メディア)